

第12回 山口市中心市街地活性化協議会（要約）

1. 日 時 平成21年2月18日（水）19：15～21：00
2. 場 所 山口商工会議所 5階コミュニティホール
3. 出席者 以上18名
4. 内 容

【報告事項】

1. やまぐち秋の彩りフェスタについて

事務局より、資料に基づき、やまぐち彩りフェスタについて説明。

- ・10月3日（金）～13日（月・祝）の11日間で15のイベントを実施。来場者約20万人、新しい来場者9%。

2. きぎょうサポート・センター事業の進捗状況について

事務局より、資料に基づき、きぎょうサポート・センター事業の進捗状況について説明。

3. 中心市街地活性化数値目標の達成状況について

山口市から説明

- ・基本計画の成果指数では、平成23年度目標は商店街通行量（休日）56,000人とし、平成18年度54,252人、平成19年度46,750人、そして今年度は山口井筒屋のオープニング効果等により、58,507人で目標クリアーしている。小売業年間商品販売額は、平成23年度目標110億。居住人口は、平成18年度3,968人、平成19年度3,945人、そして今年度は、マンション、市借り上げ住宅整備が進み、4,176人と増加しており、平成23年度目標4,200人に近づいて来ている。これからも中心市街地への居住人口を促進する事業を検討し進めていく。

【協議事項】

1. （仮称）やまぐちマーケットプラザ施設整備計画について

始めに、事務局より（仮称）やまぐちマーケットプラザの概要について、別添資料に基づき説明。

- ・現在2階公募へ3社が応募している。これから審査、決定するが、入店がない場合は公共施設で進めていく。
- ・パースについて、シーブネットワークから別添資料に基づき説明。完成ではなく。多少変更あり。

2. 平成21年度やまぐち秋の彩りフェスティバル事業について

事務局からやまぐち秋の彩りフェスティバル事業について、別添資料に基づき説明。現在、山口の歴史背景からスペインをキーワードとしたフェスティバルを案として考えている。

- ・今大変厳しい経済環境であり、商店街も大変である。スペインは商店街でもスペイン祭りを行ってきており、よいと思うがこれを如何に活性化に繋げていくかが重要である。
- ・フェスタのメンバーに学生（山大、県大、芸大）を入れ、学生からの盛りあがりもよいのではないか。
- ・フェスティバルでは、来られた人に親切にするため、駐車場、進入路の整備が必要である。また、雨対策でぬれないで商店街へ行ける施設も大切ではないか。

～意義なく承認～

3. 平成21年度きぎょうサポート・センター事業について

21年度は、チャレンジショップはやめて、レンタルボックスのみで行う計画である。今後は、レンタルボックスでもチャレンジショップがまかなえるし、ギャラリースペースを有効活用していきたい。また、商店街個店を強化（販促、接遇を重点に）するサポート事業を行う。

- ・空き店舗にならないよう、各個店が目覚めて欲しい。そのための支援をきぎょうサポートセンターに期待する。
- ・市民の目、声を取り入れることが大事で、消費者と商店街関係者との話し合い（ワークショップなど）をするのがよいのではないか。

～21年度きぎょうサポートセンター事業について、チャレンジショップはやめて、レンタルボックスのみで行うこと、消費者と商店街関係者との話し合い（ワークショップなど）行うことを承認～

4. その他

(1) 商店街大型駐車場の整備について

中心市街地活性化の一つとして、駐車場整備について説明。分かりやすく、入りやすく、止めやすい商店街駐車場（山銀跡地に大型駐車場）の整備をお願いしたい。

(参加者からの主な意見は下記の通り)

- ・同感。お客様の立場で不足、不満を解消しないと生き残れない。
- ・駐車場は必要。山銀跡地だけでなく、周辺（西京パーキング）駐車場も入りやすい環境整備を合わせて行うことはどうか。
- ・住む人、子供が楽しくなる場所は、大人も楽しくなり集まる。商店街は店舗住居が一体。商店街を応援している。
- ・マーケットプラザオープンもあり、山銀跡地に大きい駐車場が必要。

・山銀跡地駐車場の整備と、西の開発整備も合わせて考える必要がある。
～商店街大型駐車場の整備をて委員会として検討を進め、合わせて東西の開発整備についても検討することを承認～

(2) セミナー開催について

事務局からセミナー開催について説明。

- ・日 時～平成21年3月3日(火) 19時分～
- ・会 場～山口商工会議所5階コミュニティホール
- ・講 師～杉谷第士郎氏(米子市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー)

以上